

1-表

阪急電鉄鉄道関係工事（施設部門） 資格審査申込書

写真貼付  
縦 2.5×横 2.0  
裏面に氏名  
記入のこと

No. 1

申込日 年 月 日

元請会社名			
所属会社名	ふりがな 氏 名		印
生年月日（西暦）	年	月	日生（ 歳）

資格審査を申し込む資格および現在所有している資格の名称・区分

資格名称 (該当区分に○)	区分 (該当区分に○)	現在所有する資格の 認定番号を記入
土木工事責任者資格	新更 規新	土 - - 号
準土木工事責任者	新更 規新	準土 - - 号
軌道工事責任者資格	新更 規新	軌 - - 号
列車監視員資格（施設）	新更 規新	列施 - - 号
踏切警戒員①資格	新更 規新	踏 - - 号
請負者等軌陸車および 軌道バイク運転者資格	新更 規新	軌・バー - - 号
阪急電鉄からの受験指示者に限る資格		
土木工事監理責任者資格	新更 規新	土監 - - 号
準土木工事監理責任者資格	新更 規新	準土監 - - 号

※今回お預かりする氏名・生年月日等の個人情報については、資格認定に関する資料のみに使用し、それ以外は一切利用しません。

注：記入事項が裏面に続きます。

阪急電鉄鉄道関係工事（施設部門） 資格審査申込書

経歴証明

勤務先	業 務 内 容	年・月～年・月	期間計（※）
経歴期間（※）の合計		年	ヶ月
近接工事で列車監視員資格受験の場合	工事件名	阪急担当者	
主な経歴区分（土木工事責任者資格受験者のみ記入）		土木・建築・設備・その他	

土木工事責任者：大学の土木・建築関係の課程を修了した者は3年、高等専門学校の同課程を修了した者は4年、その他の者は5年以上の実務経験を有する技術者で、内1年を鉄道土木関係工事の実務経験を有する者、もしくは準土木工事責任者資格の保有者として2年以上の実務経験を有する者。

準土木工事責任者：阪急が指定する公的資格保有もしくは実務経験が2年以上。

軌道工事責任者：鉄道軌道工事の実務経験5年以上あり、そのうち阪急の軌道工事経験が1年以上。

踏切警戒員：阪急の列車監視業務経験3年以上                      列車監視員：経歴がなければ「なし」と記入

更新：更新前3年間で阪急電鉄の鉄道工事に従事した経験があれば記載

健康診断結果（衛生管理者が記入することが望ましいが庶務担当課長等会社責任者でも良い）

視 力	右	裸眼	(矯正)	検査日 年 月 日 片眼での視力が0.7未満の場合は、衛生管理者或いは会社責任者が両眼での視力を確認し記入すること。(検査日は1年以内であること)
	左			
	両眼			
聴 力		1000Hz	4000Hz	会話法 1 = 所見なし   2 = 軽微所見 3 = 所見あり 聴力の会話法、色覚の確認、心身の異常は衛生管理者或いは会社責任者が確認し記入する。(聴力は会話法だけでも可)
	右			
	左			
色 覚				
心身の異常				
衛生管理者 或いは会社責任者				印

上記のとおり相違ないことを証明します

会社名

代表者名

印

注 審査申込書は「本人」が虚偽なく自筆で記載すること。  
 (記入漏れ・間違いは、不受理・失格事項になりますので、  
 十分確認して下さい。)  
 また用紙は、「両面コピー」にて使用のこと。

顔写真 縦25mm×横20mm  
 裏面に氏名・会社名を記入

写真貼付  
 縦2.5×横2.0  
 裏面に氏名  
 記入のこと

1-表

阪急電鉄鉄道関係工事（施設部門） 資格審査申込書

No. 1

手書きにて第1希望日〇月〇日  
 第2希望日〇月〇日

会社名、氏名、生年月日、年齢  
 は、明確に記入のこと。

申込日 年 月 日

元請会社名		満20歳以上68歳未満 (土木工事責任者は上限なし)
所属会社名	ふりがな 氏名	軌・軌バ 63歳未満
生年月日 (西暦)	年 月 日生 ( 歳)	

資格審査を申し込む資格および現在所有している資格の名称・区分

資格名称 (該当区分に○)	区分 (該当区分に○)	現在所有する資格の 認定番号を記入
土木工事責任者資格	新 規 更 新	土 - 2〇 - 〇〇 号
準土木工事責任者	新 規 更 新	準土 - - 号
軌道工事責任者資格	新 規 更 新	軌 - - 号
列車監視員資格(施設)	新 規 更 新	列施 - - 号
踏切警戒員 <sup>①</sup> 資格	新 規 更 新	踏 - - 号
請負者等軌陸車および 軌道バイク運転者資格	新 規 更 新	軌・バ - 2〇 - 〇〇 号 20〇〇 - 〇 - 〇
阪急電鉄からの受験指示者に限る資格		
土木工事監理責任者資格	新 規 更 新	土監 - - 号
準土木工事監理責任者資格	新 規 更 新	準土監 - - 号

今回受験資格に、○  
印を忘れないこと。

他の資格を保有して  
いれば、認定番号・  
有効期限を記入。

※今回お預かりする氏名・生年月日等の個人情報については、資格認定に関する資料のみに使用し、それ以外は一切利用しません。

注：記入事項が裏面に続きます。

新規と更新では記入内容が違いますのでご注意ください。

様式-1-裏

### 阪急電鉄鉄道関係工事（施設部門） 資格審査申込書

No. 2

経歴証明

**土木工事責任者（新規）資格受験者の方のみ記入**

最終学歴：大学、高等専門学校、その他（高校・中学卒）を記入願います。

勤務先	業務内容	年・月～年・月	期間計（※）
	20〇〇年 〇〇卒業		
<p>※新規の場合：<b>就職後から現在に至るまでの経歴</b>を簡潔に記入。鉄道関係工事（<b>土責の場合</b>：1年以上の経験が必要）を区別して記入すること。</p> <p>(例) 〇〇建設(株) 都市土木関係工事(設計部門) 2010年4月～2013年4月 3年0ヶ月          " 河川改修関係工事(現場管理) 2013年4月～2015年4月 2年0ヶ月          " (鉄) 私鉄・JR 〇〇橋梁改築工事(現場管理) 2015年4月～2016年4月 1年0ヶ月</p> <p>※更新の場合：資格取得または更新後<b>3年間の経歴</b>を記入。鉄道関係工事に従事していない場合は別記で<b>(鉄)</b>「なし」と区別して記入すること。</p> <p>(例) 〇〇建設(株) 〇〇市道改良工事(現場管理) 2013年6月～2016年6月 3年0ヶ月          " (鉄) 「なし」 <b>(受験資格条件を満たしているか、よくご確認願います)</b></p>			
近接工事で列車監視員資格受験の場合	工事件名 〇〇〇工事	阪急担当者 阪急工事の受注者担当名	
主な経歴区分（土木工事責任者資格受験者のみ記入）		土木・建築・設備・その他	

土木工事責任者：大学の土木・建築関係の課程を修了した者は3年、高等専門学校の同課程を修了した者は4年、その他の者は5年以上の実務経験を有する技術者で、内1年を鉄道土木関係工事の実務経験を有する者、もしくは準土木工事責任者資格の保有者として2年以上の実務経験を有する者。

準土木工事責任者：阪急が指定する公的資格保有もしくは実務経験が2年以上。 **他の鉄道会社でも構いません**

軌道工事責任者：鉄道軌道工事の実務経験5年以上あり、そのうち阪急の軌道工事経験が1年以上。

踏切警戒員：阪急の列車監視業務経験3年以上 **列車監視員：経歴がなければ「なし」と記入**

更新：更新前3年間で阪急電鉄の鉄道工事に従事した経験があれば記載 **列監(更新)の方は、1年間の経歴(従事場所)を記載**

健康診断結果（衛生管理者が記入することが望ましいが庶務担当課長等会社責任者でも良い）

視力	右	裸眼	(矯正)	検査日 年 月 日 片眼での視力が0.7未満の場合は、衛生管理者或いは会社責任者が両眼での視力を確認し記入すること。(検査日は1年以内であること)
	左			
	両眼			
聴力		1000Hz	4000Hz	会話法 1=所見なし 2=軽微所見 3=所見あり 聴力の会話法、色覚の確認、心身の異常は衛生管理者或いは会社責任者が確認し記入する。(聴力は会話法だけでも可)
	右			
	左			
色覚				
心身の異常				
衛生管理者 或いは会社責任者	記名者名、押印を忘れないこと。			印

上記のとおり相違ないことを証明します  
会社名

代表者名

所属会社での証明・代表者 押印。

印

## 申込書のチェック表

申込書の記入漏れ等が多く発生しておりますので、下記表に基づきチェックした後、必要書類に本紙を付けて送付願います。次の連絡は、本紙の FAX 送付といたします。

ご担当の方は、記入漏れ、書き間違いが無いか再確認願います。

チェック項目	貴社チェック欄	阪急設計コンサルタント チェック欄
申込人数（このチェック表に添付する申込書の枚数）	新規 ○人	
	更新 ○人	
写真（2枚共に裏に記入、うち1枚は貼付）	✓	
元請会社がある場合の記載	✓	
経歴の各期間	✓	
経歴の合計	✓	
視力・聴力の記入（特に検査日）	✓	
社員の証明書類（両面コピーでは不要）	_____	
← 両面コピーにより、裏面の代表者にて証明可		

※ 聴力の会話法とは、日常生活に支障なく会話が可能であるかを判断してください。

※ 色覚については、衛生管理者あるいは会社代表者が異常ないと保証できれば「1」記載で可。

※ 記入注意点をよく見て、不受理・失格にならないよう申込者が**自筆**で記入してください。

不受理の申込書は返却しません。

会社名	
担当者名	
TEL番号	
FAX番号	
Eメールアドレス	メールアドレスは明確に記入の事。

以下は 阪急設計コンサルタント記入欄

---

\* 受付完了致しました

\* 下記の内容について訂正願います

\* 以下の理由による不受理

阪急設計コンサルタント(株)

問合せ先 TEL 06-6359-2751

FAX 06-6359-2762